

2013年度第3四半期決算説明資料

2014年1月31日

川崎汽船株式会社

A. 2013年度第3四半期決算概要

- A-1 第3四半期決算概要
- A-2 第3四半期累計実績のポイント
- A-3 通期業績予想
- A-4 業績変動のポイント
- A-5 コスト削減の進捗状況

B. 部門別業績動向

- B-1 コンテナ船
- B-2 不定期専用船 – ドライバルク
- B-3 不定期専用船 – 自動車船
- B-4 不定期専用船 – LNG船・油槽船
- B-5 海洋資源開発及び重量物船

A. 2013年度第3四半期決算概要

A-1. 第3四半期決算概要

(単位:億円)

	2013年度			2012年度	対前年
	上期実績	3Q実績	9ヶ月累計	9ヶ月累計	増減額
売上高	6,066	3,114	9,180	8,024	1,156
営業損益	198	43	241	106	135
経常損益	200	92	292	106	186
当期純損益	147	10	157	94	63
為替レート	¥98.03	¥99.56	¥98.54	¥79.75	¥18.79
燃料油価格	\$628	\$621	\$626	\$677	▲ \$52

(億円,%)

主な財務指標	2013年度 3Q末	2012年度 期末	変動
自己資本	3,987	3,406	581
現預金等	2,368	1,621	747
有利子負債	6,548	6,299	249
DER	164%	185%	-21%
NET DER	105%	137%	-33%
自己資本比率	31.1%	28.9%	2%

(単位:億円)

		2013年度			2012年度	対前年
		上期実績	3Q実績	9ヶ月累積	9ヶ月累積	増減額
コンテナ船	売上高	2,943	1,421	4,364	3,939	425
	経常損益	15	▲ 26	▲ 11	29	▲ 40
不定期専用船	売上高	2,776	1,509	4,285	3,612	673
	経常損益	219	124	343	94	249
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	166	92	258	178	80
	経常損益	▲ 19	▲ 12	▲ 31	▲ 26	▲ 5
その他	売上高	180	93	273	296	▲ 23
	経常損益	20	14	34	44	▲ 10
調整額	売上高	-	-	-	-	-
	経常損益	▲ 35	▲ 8	▲ 43	▲ 35	▲ 8
合計	売上高	6,066	3,114	9,180	8,024	1,156
	経常損益	200	92	292	106	186

【2013年度3Q フリーキャッシュフロー】

+637億円

(営業CF 786億円, 投資CF ▲149億円)

【2013年度3Q 前年同期比為替/燃料油影響】

為替変動: 18.79円 円安 ⇒ +123億円

燃料油価格変動: \$52 安 ⇒ +55億円

【2013年度3Q 特別損失】

引当金繰入計上: ▲57億円

A-2. 第3四半期累計実績のポイント

<前年同期比> 増収(1,156億円)・増益(186億円)

(単位:億円)

損益変動要因	前年同期比	概況
為替変動	123	為替18.79円安
バンカー変動	55	バンカー価格\$51.63/MT安
市況変動	▲ 275	主にコンテナ船の市況低迷
配船効率化	72	主に不定期船での配船効率向上
コスト変動	176	コンテナ船でのコスト削減が順調に推移
関係会社	4	
その他	31	為替差損益差異等
合計	186	

A-3.通期業績予想

(単位:億円)

	2013年度			2012年度	対前年	前回公表	対公表
	9ヶ月累計	4Q予想	通期予想	通期	増減額	通期	増減額
売上高	9,180	2,920	12,100	11,348	752	11,800	300
営業損益	241	39	280	149	131	280	0
経常損益	292	8	300	286	14	270	30
当期純損益	157	3	160	107	53	160	0
為替レート	¥98.54	¥103.00	¥99.66	¥82.33	¥17.33	¥99.02	¥0.64
燃料油価格	\$626	\$622	\$625	\$671	▲ \$46	\$614	\$11

(単位:億円)

		2013年度		
		9ヶ月累計	4Q予想	通期予想
コンテナ船	売上高	4,364	1,386	5,750
	経常損益	▲ 11	▲ 19	▲ 30
不定期専用船	売上高	4,285	1,415	5,700
	経常損益	343	67	410
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	258	42	300
	経常損益	▲ 31	▲ 19	▲ 50
その他	売上高	273	77	350
	経常損益	34	1	35
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 43	▲ 22	▲ 65
合計	売上高	9,180	2,920	12,100
	経常損益	292	8	300

【2013年度 4Q 収支前提】

為替レート前提 103円
バンカー価格前提 \$622/MT

【2013年度 4Q 変動影響】

為替変動：1円増減⇒±2億円
燃料油価格変動：\$10/MT変動⇒±3億円

【配当計画】

中間：無配 / 期末：3.5円

A-4.通期業績変動のポイント

< 前回公表比 > 増収(+300億円) 増益(+30億円)

(単位:億円)

損益変動要因	前回公表比	概況
為替変動	2	為替0.64円安
バンカー変動	▲ 12	バンカー価格\$11/M高
市況変動	14	—
配船効率化	1	主に不定期専用船の配船効率向上
コスト変動	17	コスト削減を上積み
関係会社	▲ 7	—
その他	14	為替差損益差異等
合計	30	

< 前年比 > 増収(+752億円) 増益(14億円)

(単位:億円)

損益変動要因	前年比	概況
為替変動	148	為替17.33円安
バンカー変動	63	バンカー価格\$46/MT安
市況変動	▲ 312	主にコンテナ船の市況低迷
配船効率化	75	主に不定期専用船の配船効率向上
コスト変動	259	コスト削減の取組は順調に進捗(コンテナ船合理化効果を含む)
関係会社	7	—
その他	▲ 227	12F一過性要素(為替益、決算期統一など)
合計	14	

A-5.コスト削減の進捗状況

- 2013年度 期首目標 145億円(足元の通期予想は 259億円)
- 3Q迄の累計で176億円のコスト削減・収支改善を達成済み(進捗率122%)。
- コンテナ船部門は期首目標から115億円の追加コスト削減を上積み予定。
- 2013年度通期では、期首目標から大幅な上積み達成予定。

単位(億円、%)

	期首目標	上期実績	3Q実績	累計	進捗率	通期見込	達成率
コンテナ船:航路合理化・コスト削減・収益改善	75	56	67	123	164%	190	253%
不定期専用船・その他	70	36	17	53	76%	69	98%
合計	145	92	84	176	122%	259	178%

B. 部門別業績動向

B-1. 部門別業績動向

コンテナ船

<13F3Q累計> 前年同期比 増収・赤字転落

- 運賃市況は新造大型船の竣工により東西航路・南北航路共に安定せず
- 運航効率化・コスト削減に取り組むも前年同期比で悪化

<今後のポイント>

- 運賃修復度合い
- 欧州経済動向
- 東西航路を中心とした配船効率化推進とコスト削減の一層の追求

		2012年度					2013年度			
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績
売上高(億円)		1,332	1,378	1,228	1,589	5,528	1,419	1,524	2,943	1,422
経常損益(億円)		6	32	▲ 9	37	66	0	16	15	▲ 26
運賃推移 08年1Q=100	北米往航	100	105	101	103	102	98	96	97	93
	欧州往航	97	88	73	77	85	62	76	69	71
積高(万TEU)	北米往航	18.4	21.2	19.9	17.1	76.6	19.4	21.0	40.5	19.8
	欧州往航	13.6	13.0	11.0	10.4	48.0	12.1	12.2	24.3	11.1
スペース(万TEU)	北米往航	19.1	21.9	20.6	19.6	81.3	21.4	23.1	44.4	20.6
	欧州往航	14.3	14.8	12.2	12.0	53.4	12.9	13.4	26.3	11.5
消席率(%)	北米往航	96%	97%	96%	88%	94%	91%	91%	91%	96%
	欧州往航	95%	88%	90%	86%	90%	94%	91%	93%	96%

B-2. 部門別業績動向 不定期専用船 ドライバルク

<13F3Q累計> 前年同期比 増収・増益

- 大型船市況は中国向け鉄鉱石の荷動きが大幅に伸びたことにより大幅改善
- 中小型船も石炭・穀物等の太宗貨物の荷動きが活発化、船舶需要高まり市況回復

<今後のポイント>

- 中国の経済動向
- 当面は好調な市況が継続
- 引き続き効率的配船・運航コスト削減等収益改善策を徹底

バルク市況	2012年度					2013年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
ケープ(170型)	\$6,000	\$4,800	\$12,600	\$6,000	\$7,350	\$6,300	\$19,100	\$27,400	\$15,000	\$17,000
パナマックス(74型)	\$10,000	\$6,600	\$6,600	\$7,100	\$7,575	\$7,760	\$8,940	\$14,300	\$11,000	\$10,500
ハンディ(53型)	\$11,000	\$10,300	\$7,600	\$8,100	\$9,250	\$9,320	\$9,770	\$14,200	\$9,300	\$10,600
スモール(28型)	\$9,000	\$8,650	\$6,200	\$6,250	\$7,525	\$7,340	\$7,480	\$9,500	\$8,700	\$8,300

(*)4T/C Average

B-3. 部門別業績動向 不定期専用船 自動車船

<13F3Q累計> 前年同期比 増収・増益

- 輸送台数: 2,499千台(前年同期比約3%減)
- 輸送契約の見直しや航路改編などにより、運航効率・収益性改善
- 極東/中近東や極東/中南米航路が好調

<今後のポイント>

- 北米、中近東販売市場は堅調に推移し、欧州販売市場に底打ちの兆し
- 中国・インド・ロシア販売市場の成長鈍化
- 北米・欧州発極東向けや大西洋水域での荷量堅調だが、日本発は伸び悩み

		2012年度					2013年度			
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	3Q累計
輸送台数 (千台)	往航	301	276	258	259	1,095	264	265	288	816
	復航	84	78	89	58	309	86	76	86	247
	三国間	309	288	322	262	1,180	310	289	279	878
	欧州域内	212	199	172	178	760	201	189	168	559
	合計	905	841	841	757	3,344	861	818	820	2,499
当社船隊規模	隻数	100	101	99	95	-	96	97	98	-

B-4. 部門別業績動向 不定期専用船

LNG船・油槽船

<13F3Q累計> 前年同期比 増収・黒字回復

【LNG船】 堅調なLNG需要の中、中長期契約にて安定収益を確保

【油槽船】 大型原油船：中長期契約の下、順調稼動
 中型原油船・石油製品船：市況は徐々に回復へ向かっている

<今後のポイント>

【LNG船】 中長期契約による安定稼動

【油槽船】 中長期の傭船契約、効率的配船により収支改善を図る

油槽船市況 (WS)	2012年度					2013年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想
VLCC(中東/日本)	52	36	46	36	43	38	36	54	45	43
	\$24,000	\$3,000	\$19,000	\$12,000	\$14,500	\$15,000	\$14,100	\$40,500	\$26,700	\$24,100
Aframax(南方/日本)	91	86	92	93	90	76	71	80	91	80
	\$8,400	\$8,700	\$11,800	\$13,500	\$10,400	\$9,400	\$8,000	\$12,000	\$16,500	\$11,500
クリーン7万吨型(中東/日本)	91	101	115	88	99	84	92	82	85	86
	\$6,600	\$12,800	\$19,200	\$12,000	\$12,650	\$9,800	\$13,700	\$9,700	\$9,700	\$10,700

B-5. 部門別業績動向

海洋資源開発及び重量物船

【海洋資源開発】

＜13F3Q累計＞ 前年同期比 増収・減益

【オフショア支援船】 船隊は順調に稼動 為替影響により業績悪化

【ドリルシップ】 12年度に稼動開始。安定収益として寄与

＜今後のポイント＞

【オフショア支援船】 中長期契約にて安定収益確保を目指す

【ドリルシップ】 安定稼動による収益貢献を見込む

【重量物船事業】

＜13F3Q累計＞ 前年同期比 増収・赤字縮小

重量物船市況は低迷するも、高齢船の処分やのれん代償却終了により赤字縮小

＜今後のポイント＞

中小型貨物の市況回復には時間がかかることが予想される。

収益性の高いオフショア案件及びプロジェクト貨物の増量により、収益改善を図る。